



桃三小

令和4年度7月号 No.604

令和4年 6月 30日

杉並区立桃井第三小学校

校長 杉浦 敬

1学期末を迎えて

校長 杉浦 敬

先日の土曜授業では、道徳授業地区公開講座を行いました。今回の授業や講演会では、「豊かな心をはぐくむ道徳教育」をテーマに進めてきました。保護者の皆様には、大勢の方のご参画、誠にありがとうございました。

さて、早いもので新学期を迎えて3か月が過ぎました。いよいよ1学期のまとめの時期となりました。

今学期は、6年生や梅組の移動教室や遠足、校外学習や授業参観等、様々な行事を通して、人や自然の素晴らしいと出会う機会を、少しずつコロナ禍の前に戻すことができるようになりました。その中で改めて、一人一人の子どもたちの成長を、頼もしく感じることができました。

互いに心を響かせ合いながら成長している子どもたちをみると、ある言葉を思い出しました。それは、「思いやり算」です。

+ - × ÷

を使った算数です。

以前、テレビ広告に出ていました。覚えている方いらっしゃることかと思います。

「+」は、助け合う

「-」は、引き受ける

「×」は、声をかける

「÷」は、分け合う

これは、人を笑顔にする算数「思いやり算」

というものです。

困っている友達がいれば助け合い、友達のことを思って笑顔で引き受け、よく声をかけ合い、喜びも苦しみも分かち合う、思いやり算。人と人との間には、人を笑顔にする算数・力が備わっていることを、子どもたちの姿を見て、日々感じます。

さて、あと20日ほどで夏休みに入ります。子どもたちにはこの夏、感染症対策をしっかりとしながら、数多くの体験活動を通して、幅広い方々と出会ってもらいたいと願っています。

様々な方と出会う中で、また豊かな「思いやり算」を身に付けてほしいと願っています。

◆時間を守ろう◆

生活指導主任 知念 美和子

桃三小のチャイムは朝の入室、休み時間の終わり、掃除と給食の変わり目などに鳴ります。言い方を変えると、授業の始まりや朝学習などの時間は、自分で時計を見て行動する必要があります。時間を守るということは、次の予定や準備に自分はどれくらいの時間が必要なのか考えることもあります。普段の自分の様子を振り返り、集団の中で時間を意識した行動ができる児童の姿を目指していきます。

◆特別支援教育◆

主幹教諭（養護） 高橋 真弓

学習・生活・友達との関わり方・心や体の面など、困っていることや手助けが必要なことがありますか。お子さんの健やかな成長、将来の自立や社会参加に向けて、必要な支援を学校・家庭で考えていきましょう。教員や介助員による支援、学習支援員の個別指導、ももさん教室、きこえことばの教室、巡回相談、教育相談、学齢期発達支援事業などがあります。担任や特別支援教育コーディネーターへご相談ください。